

コスト最適化に向けた意思決定フレームワーク

ビジネスをリスクにさらすことなく、重要なコスト判断と戦略的トレードオフを実現



Gartner のコスト最適化に向けた意思決定フレームワークは、支出とコストを削減しながら、ビジネス価値を最大化するための、戦略的かつ体系的なアプローチを提供します。

→ コスト削減施策を 6 つの要素で評価

まず、各施策の影響度を 3 段階で評価します (最小= 1、最大= 3)。次に、スコアに重み付けを掛けます。重み付けは、自社の優先順位に基づいて判断します。

メリット／影響

1 潜在的な財務メリット	小	中	大	重み付け*
	← キャッシュフローの改善またはハード面/ソフト面でのコスト削減を生み出す可能性 →			60%
2 ビジネスへの影響	悪影響	なし	好影響	重み付け*
	← ビジネス・オペレーションへの影響度 →			40%

投資／リスク／時間

3 必要な時間	長期 (または期間の制限なし)	数カ月以内	数週間以内	重み付け*
	← コスト削減が実現するまでの期間 →			25%
4 組織的リスクの度合い	高	中	低	重み付け*
	← 人員削減の可能性や、業務や組織体制の抜本的な見直しなどの程度必要か →			25%
5 IT の技術的リスクの度合い	高	中	低	重み付け*
	← オペレーティング・システム/データベース/ミドルウェア/アプリケーションへの影響度 →			25%
6 必要とされる投資額	高	中	低または不要	重み付け*
	← 施策の実施に多額の初期投資が必要となる度合い →			25%

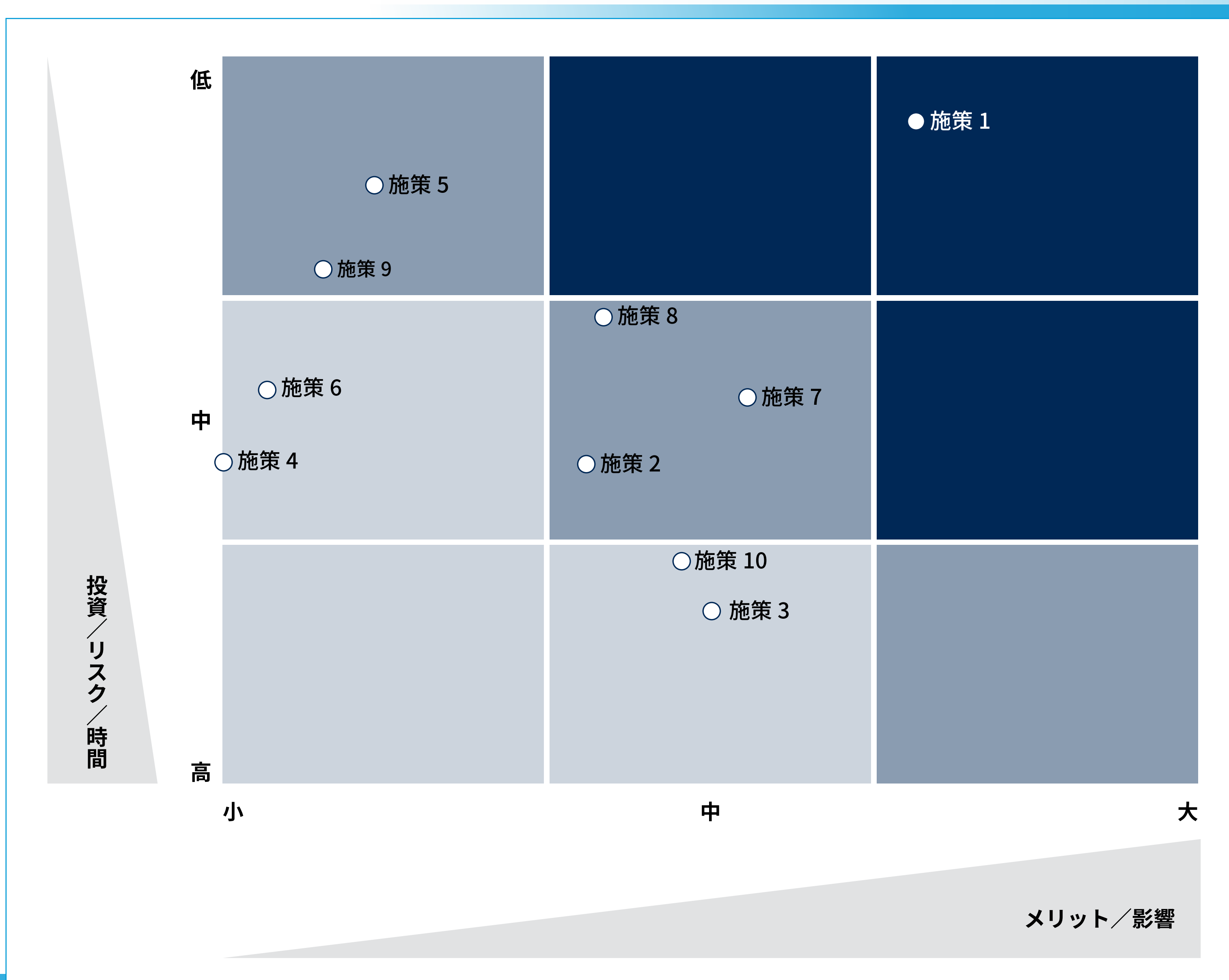
*重み付けは参考値です。合計が 100% になるよう設定してください。

各施策の評価の例：施策 1

メリットと影響	スコア	重み付け	加重スコア
潜在的な財務メリット	中= 2	60%	1.2
ビジネスへの影響	好影響= 3	40%	1.2
合計スコア			2.4

→ 評価スコアを可視化し、施策に優先順位をつける

各施策の加重スコアを可視化することで、どの施策を優先すべきかを明確にできます (Y 軸=メリット／影響、X 軸=投資／リスク／時間)。



ビジネス・リーダーと IT リーダーのための
リソース／ツールを無償でご利用いただけます。

Tool

Gartner BuySmart™

Gartner の業界をリードする知見に基づいた本ツールを活用することによって、チームの意思決定プロセスを効率化します。

[詳細を見る](#)



Webinar

IT 投資の優先順位を再構築： 運営コストの見直しとリスク軽減 投資を最適化する手法

リスク軽減投資の優先順位付けと、既存システム資産の最適化に着目し、どのように維持、改善、統廃合に仕分けし、資産の最適化を実行するのかについて、ご説明します。

[今すぐ視聴](#)



Gartner のお客様向けサービスは、以下でご確認いただけます。

[詳細を見る](#)